

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場取引所 東 大

上場会社名 日本水産株式会社

コード番号 1332 URL <http://www.nissui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 垣添 直也

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長

(氏名) 佐藤 高輝

TEL 03-3244-7181

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	365,672	△8.6	6,709	9.5	6,254	155.4	2,197	—
21年3月期第3四半期	400,088	—	6,125	—	2,449	—	△6,594	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	7.95	—
21年3月期第3四半期	△23.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	392,743	77,896	15.4	218.83
21年3月期	385,462	72,165	14.5	201.64

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 60,463百万円 21年3月期 55,718百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	5.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	480,000	△5.0	8,500	169.3	7,000	—	2,000	—	7.24

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年3月期第3四半期	277,210,277株	21年3月期	277,210,277株
---------------------	-------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	900,787株	21年3月期	891,340株
-----------	-------------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	22年3月期第3四半期	276,313,266株	21年3月期第3四半期	276,457,399株
----------------------	-------------	--------------	-------------	--------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要素により異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策の効果などにより一部で持ち直しの動きがみられたものの、企業収益が低迷し雇用情勢が一段と厳しさを増す中、消費者の生活防衛意識の高まりにより個人消費も伸び悩むなど、厳しい状況が続きました。

世界経済につきましては、アジアでは中国の内需回復に牽引され景気は持ち直しているものの、米国や欧州では景気低迷が続きました。

当社および当社グループ業界におきまして、わが国では、水産物で販売価格の下落があり、食品事業でも商品の低価格化が顕著となるなど、厳しい事業環境が続きました。米国や欧州でも、個人消費の低迷が続くなど引き続き厳しい状況で推移しました。

このような状況下で当第3四半期連結累計期間における営業成績は、売上高は3,656億72百万円（前年同期比344億15百万円減）、営業利益は67億9百万円（前年同期比5億83百万円増）、経常利益は62億54百万円（前年同期比38億5百万円増）、四半期純利益は21億97百万円（前年同期比87億91百万円増）となりました。

事業のセグメント別営業概況

①水産事業

日本において、共和水産株式会社（注1）が連結子会社となりましたものの、すりみ、かに、鮭鱒、助子（注2）などの主要魚種で消費低迷による販売数量の減少および販売価格の下落があり、たな卸資産の評価損も発生しました。海外においても、北米、南米、ヨーロッパならびにアジアで、漁獲・生産数量や販売数量の減少に加え、販売価格の下落もありましたので、売上高は1,359億41百万円（前年同期比306億67百万円減）となり、営業損失は6億70百万円（前年同期比49億14百万円減）となりました。

②食品事業

日本において、冷凍食品や常温食品ならびに魚肉ソーセージなどが売り上げを伸ばしましたが、チルド食品では売り上げが減少しました。海外において、北米のキングアンドプリンス社（注3）の低迷が続きましたが、中国の山東山孚日水有限公司（注4）の生産収支の好転がありましたので、売上高は1,922億83百万円（前年同期比51億28百万円減）となり、営業利益は39億8百万円（前年同期比51億99百万円増）となりました。

③物流事業

冷蔵倉庫事業において、営業活動に努めましたので売上高は89億65百万円（前年同期比3億22百万円増）となり、営業利益は15億32百万円（前年同期比39百万円減）となりました。

④ファイン事業

ファイン事業において、医薬事業および健康食品その他が堅調に推移しましたので、売上高は174億64百万円（前年同期比3億84百万円増）となり、営業利益は36億5百万円（前年同期比1億4百万円増）となりました。

所在地別セグメントの営業概況

①日本

水産事業において、すりみ、かに、鮭鱒、助子などの主要魚種で、消費低迷による販売数量の減少および販売価格の下落があったことに加え、たな卸資産の評価損が発生しました。また、食品事業において、冷凍食品や常温食品ならびに魚肉ソーセージなどの販売が順調に推移しましたものの、チルド食品の売り上げが減少しましたので、売上高は2,991億45百万円（前年同期比192億71百万円減）となり、営業利益は88億26百万円（前年同期比11億26百万円減）となりました。

②北米

米国において水産および食品事業を営んでおり、水産事業において、すりみなどで生産数量の減少および販売価格の下落があり、食品事業において、キングアンドプリンス社が外食産業不振の影響を受けましたので、売上高は447億55百万円（前年同期比72億75百万円減）となり、営業損失は1億4百万円（前年同期比3億69百万円損失減）となりました。

③南米

アルゼンチン、チリにおいて漁撈および養殖事業を営んでおり、漁撈会社において漁獲量の減少および販売価格の下落がありましたが、チリのサルモネス・アンタルティカ社（注5）は経費削減などにより収支が好転しましたので、売上高は62億11百万円（前年同期比28億66百万円減）となり、営業利益は9億82百万円（前年同期

比 12 億 43 百万円増) となりました。

④アジア

アジアにおいて水産および食品事業を営んでおり、水産事業では、インドネシアのえび養殖事業の不振が続いたことに加え、シンガポールの水産物販売会社の販売数量の減少および販売価格の下落もありましたが、食品事業では、中国の山東山孚日水有限公司において生産収支の好転がありましたので、売上高は 41 億 94 百万円（前年同期比 7 億 99 百万円減）となり、営業損失は 7 億 26 百万円（前年同期比 4 億 56 百万円損失減）となりました。

⑤ヨーロッパ

ヨーロッパにおいて水産および食品事業を営んでおり、水産事業では市況の悪化により販売数量の減少および販売価格の下落がありましたので、売上高は 113 億 65 百万円（前年同期比 42 億 2 百万円減）となり、営業利益は 16 百万円（前年同期比 4 億 1 百万円減）となりました。

(注 1) 平成 20 年 10 月に漁撈会社である共和水産株式会社の株式を追加取得し、同社は連結子会社となりました。

(注 2) すけとうだらの卵。

(注 3) 米国ジョージア州ブランズウィック市に本社を置く業務用水産調理冷凍食品の製造・販売会社。

(注 4) 中国山東省青島市に本社を置く水産・食品会社。

(注 5) チリ チョンチ市に本社を置く鮭養殖会社。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて 1.6%減少し、1,875 億 4 百万円となりました。これは現金及び預金が 133 億 2 百万円減少し、商品及び製品が 75 億 78 百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて 5.3%増加し、2,052 億 38 百万円となりました。これは投資その他の資産が 124 億 95 百万円増加し、有形固定資産が 13 億 47 百万円、のれんが 7 億 77 百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて 1.9%増加し、3,927 億 43 百万円となりました。

負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて 0.5%減少し、1,857 億 95 百万円となりました。これは短期借入金が 64 億 64 百万円減少し、未払費用が 52 億 83 百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて 2.0%増加し、1,290 億 51 百万円となりました。これは長期借入金が 32 億 98 百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて 0.5%増加し、3,148 億 47 百万円となりました。

純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて 57 億 30 百万円増加し、778 億 96 百万円となりました。これは主として為替換算調整勘定が 43 億 36 百万円増加したことなどによります。

キャッシュ・フローの状況

第 3 四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比 72 億 65 百万円減少し、236 億 27 百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純利益 57 億 97 百万円、減価償却費 128 億 41 百万円、売上債権の増加 110 億 34 百万円、棚卸資産の減少 74 億 33 百万円などの結果、188 億 12 百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは食品工場への増力化投資などの有形固定資産の取得による支出 91 億 34 百万円などにより、186 億 64 百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは短期借入金の減少 87 億 81 百万円、長期借入れによる収入 202 億 68 百万円、長期借入金の返済による支出 150 億 54 百万円などにより、79 億 8 百万円の支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済情勢は、景気の持ち直しの動きがみられるものの、雇用情勢の悪化や所得の減少などによって消費者の生活防衛意識が益々高まり、個人消費の低迷が続くものと懸念され、先行きは厳しく推移するものと予想されます。

当社および当社グループにおきましては、今後一層の営業活動の強化およびコストダウンの徹底により、収益の拡大に努めてまいります。従いまして、現時点においては平成 21 年 11 月 12 日に公表いたしました平成 22 年 3 月期の業績予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,296	25,599
受取手形及び売掛金	70,139	58,515
商品及び製品	41,879	49,458
仕掛品	11,090	7,925
原材料及び貯蔵品	19,131	21,517
その他	33,559	28,202
貸倒引当金	△591	△654
流動資産合計	187,504	190,562
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	49,381	50,253
その他（純額）	57,356	57,833
有形固定資産合計	106,738	108,086
無形固定資産		
のれん	4,051	4,829
その他	10,964	10,995
無形固定資産合計	15,016	15,824
投資その他の資産		
投資有価証券	65,037	58,565
その他	25,334	18,968
貸倒引当金	△6,888	△6,545
投資その他の資産合計	83,483	70,988
固定資産合計	205,238	194,899
資産合計	392,743	385,462

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,274	27,199
短期借入金	122,893	129,357
未払法人税等	1,291	2,201
未払費用	24,581	19,297
引当金	745	2,240
その他	9,009	6,507
流動負債合計	185,795	186,805
固定負債		
長期借入金	104,767	101,469
退職給付引当金	16,570	16,268
その他の引当金	479	572
その他	7,233	8,181
固定負債合計	129,051	126,491
負債合計	314,847	313,296
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,729	23,729
資本剰余金	13,758	13,758
利益剰余金	31,451	32,018
自己株式	△251	△249
株主資本合計	68,687	69,257
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	282	△473
繰延ヘッジ損益	△25	△234
為替換算調整勘定	△6,574	△10,911
在外子会社の年金債務調整額	△1,906	△1,920
評価・換算差額等合計	△8,223	△13,539
少数株主持分	17,432	16,447
純資産合計	77,896	72,165
負債純資産合計	392,743	385,462

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	400,088	365,672
売上原価	316,645	283,437
売上総利益	83,443	82,235
販売費及び一般管理費	77,317	75,525
営業利益	6,125	6,709
営業外収益		
受取利息	339	429
受取配当金	549	538
為替差益	—	150
持分法による投資利益	650	657
雑収入	585	785
営業外収益合計	2,123	2,561
営業外費用		
支払利息	3,258	2,702
為替差損	1,942	—
雑支出	599	313
営業外費用合計	5,800	3,016
経常利益	2,449	6,254
特別利益		
固定資産売却益	323	9
投資有価証券売却益	770	11
貸倒引当金戻入額	86	—
事業譲渡益	250	—
特別利益合計	1,430	21
特別損失		
固定資産処分損	627	242
投資有価証券評価損	1,707	211
関係会社株式売却損	90	24
貸倒引当金繰入額	2,932	—
特別退職金	246	—
たな卸資産評価損	222	—
チリにおける魚病発生損失	877	—
持分変動損失	402	—
特別損失合計	7,107	478
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,227	5,797
法人税、住民税及び事業税	2,725	2,494
法人税等調整額	△300	85
法人税等合計	2,425	2,579
少数株主利益	941	1,020
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,594	2,197

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△3,227	5,797
減価償却費	11,864	12,841
のれん償却額	1,679	850
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,676	279
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△649	351
受取利息及び受取配当金	△888	△967
支払利息	3,258	2,702
持分法による投資損益 (△は益)	△650	△657
固定資産売却益	△323	△9
固定資産処分損	627	242
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	936	199
売上債権の増減額 (△は増加)	△18,326	△11,034
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△20,958	7,433
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,280	△394
未払費用の増減額 (△は減少)	8,200	5,210
その他	△4,041	414
小計	△9,540	23,258
利息及び配当金の受取額	1,274	1,299
利息の支払額	△3,069	△2,516
法人税等の支払額	△3,141	△3,228
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14,476	18,812
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	7	714
有価証券の増減額 (△は増加)	972	363
有形固定資産の取得による支出	△24,277	△9,134
有形固定資産の売却による収入	1,144	80
無形固定資産の取得による支出	△1,807	△1,310
投資有価証券の取得による支出	△4,651	△6,094
投資有価証券の売却による収入	2,556	785
投資有価証券の償還による収入	—	3,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,907	—
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△53	△829
長期貸付けによる支出	—	△6,580
その他	△2,550	342
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,567	△18,664

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	45,909	△8,781
長期借入れによる収入	21,477	20,268
長期借入金の返済による支出	△9,761	△15,054
リース債務の返済による支出	△577	△666
少数株主からの払込みによる収入	—	410
配当金の支払額	△2,764	△2,764
少数株主への配当金の支払額	△1,155	△1,316
自己株式の増減額 (△は増加)	△8	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	53,118	△7,908
現金及び現金同等物に係る換算差額	△498	494
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,577	△7,265
現金及び現金同等物の期首残高	11,774	30,892
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△81	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,269	23,627

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

（単位：百万円）

	水産事業	食品事業	物流事業	ファイン 事業	その他 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	166,609	197,412	8,642	17,079	10,344	400,088	—	400,088
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,888	846	5,769	33	498	19,037	(19,037)	—
計	178,497	198,259	14,412	17,113	10,843	419,125	(19,037)	400,088
営業利益(△は営業損失)	4,244	△1,290	1,571	3,501	426	8,453	(2,327)	6,125

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

（単位：百万円）

	水産事業	食品事業	物流事業	ファイン 事業	その他 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	135,941	192,283	8,965	17,464	11,017	365,672	—	365,672
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,832	587	4,972	159	810	15,363	(15,363)	—
計	144,774	192,871	13,937	17,624	11,827	381,035	(15,363)	365,672
営業利益(△は営業損失)	△ 670	3,908	1,532	3,605	619	8,995	(2,286)	6,709

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称

- 事業区分の方法 連結グループ内部の管理区分によっております。
- 各事業区分に属する主要な製品の名称等

水産事業	水産物（鮮凍品、油脂・ミール）の漁獲、養殖、買付、加工及び販売
食品事業	冷凍食品、常温食品、その他の加工品の製造及び販売
物流事業	冷蔵保管、凍結及び冷蔵貨物の運搬
ファイン事業	診断薬、一般医薬品、健康食品、医薬原料の製造及び販売
その他事業	船舶の建造・修繕、運航、エンジニアリング、その他

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

（単位：百万円）

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	計	消去 又は全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	318,416	52,031	9,078	4,994	15,568	400,088	—	400,088
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,371	4,752	10,526	6,223	36	26,911	(26,911)	—
計	323,788	56,783	19,604	11,218	15,604	427,000	(26,911)	400,088
営業利益(△は営業損失)	9,952	△ 473	△ 261	△ 1,182	418	8,453	(2,327)	6,125

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

（単位：百万円）

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	計	消去 又は全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	299,145	44,755	6,211	4,194	11,365	365,672	—	365,672
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,751	2,687	10,323	5,943	34	23,740	(23,740)	—
計	303,896	47,442	16,535	10,138	11,399	389,412	(23,740)	365,672
営業利益(△は営業損失)	8,826	△ 104	982	△ 726	16	8,995	(2,286)	6,709

（注）国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

1. 国又は地域の区分の方法 地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域

北 米	米国、カナダ
南 米	チリ、アルゼンチン
ア ジ ア	シンガポール、タイ、中国、インドネシア、ベトナム
ヨー ロ ッ パ	オランダ、フランス、スペイン

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）（単位：百万円）

	北 米	そ の 他	計
I 海外売上高	46,621	40,056	86,678
II 連結売上高			400,088
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.7	10.0	21.7

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）（単位：百万円）

	北 米	そ の 他	計
I 海外売上高	41,099	30,523	71,623
II 連結売上高			365,672
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.2	8.3	19.6

(注)

1. 国又は地域の区分の方法 地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域

北 米	米国、カナダ
そ の 他	南米、ヨーロッパ、アジア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。